



板敷溪谷と昇仙峡めぐりウォーク

2024.11.17 7.4km

コース
往路 富士宮駅南口 == 甲府南IC == 双葉SA (WC・スマートIC流出) == 板敷溪谷駐車場 (WC・体操)
 8:00 9:20~35 10:10~30
 *バス待機場所:板敷溪谷駐車場
ウォーク 板敷溪谷駐車場(スタート)・・・板敷溪谷入口・・・板敷大滝・・・板敷溪谷出口・・・
 10:30
 板敷溪谷駐車場(昼食・WC) == バス == 昇仙峡市営駐車場跡地・・・ロープウェイ乗り場(WC)
 11:30~12:00 12:20~40
 ...昇仙峡遊歩道入口・・・長とろ橋・・・天神森市営駐車場(ゴール・WC)
 15:10~25
復路 天神森市営駐車場 == 双葉SA(スマートIC流入・WC) == 中部横断道JCT ==
 15:25 15:55~16:15
 == 富沢IC == 富士宮駅南口
 17:30

参加者の皆様へ

- ・無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

コースの概要

板敷溪谷駐車場でトイレと体操を済ませてウォークスタート。県道を1km弱歩くと**板敷溪谷入口**に到着、階段を降りて沢沿いの道を**大滝**まで歩きます。距離の短い溪谷ですが、滑りやすい板橋や段差があるので足元に注意願います。杖を持っている方は使いましょう。足に不安のある方は**大滝**まで行かずに指定の場所で待機願います。滝の周辺は狭いですが、全員が到着するまでここで待ちます(溪谷の道はすれ違いが難しいので)。大滝見学の後は元来た道を駐車場まで戻り、昼食となります。
 昼食後はバスで**市営駐車場跡地**に移動し、**ロープウェイ乗り場**でトイレ休憩後、**昇仙峡遊歩道**を**天神森市営駐車場**まで歩いてゴールです。**仙娥滝(せんがたき)**、**覚円峰(かくえんぼう)**、**石門(いしもん)**、**ラクダ石**、**猿岩**などの滝や奇岩と紅葉を眺めながらゆっくりと歩きましょう。
 今回のコースは短い上に下り道が中心ですので特に短縮コースは設けません。無理をしないで自分のペースで歩いてください。

行事参加中のコロナ対策

- ・バス内ではマスクを着用し、大声での会話は控えてください。
- ・バス内での菓子等の喫食は控えてください。
- ・ウォーク中のマスク着用は個人判断とします。
- ・補食・お菓子等は自分のみとしましょう

緊急時連絡

市川 文雄 090-3835-5203
 西島真砂子 090-8955-2270

次回申込(朝・集合場所で) 大室山&一碧湖ウォーク

☆期日 12月8日(日)
 ☆集合 富士宮駅南口 7:00
 ☆参加費 6,000円
 ☆切 12月2日(月)



昇仙峡

昇仙峡は、山梨県甲府市、甲府盆地北側、富士川の支流、荒川上流に位置する溪谷である。1923年(大正12年)に国指定名勝に指定され、さらに1953年(昭和28年)に特別名勝に格上げされている。正式名称は御嶽昇仙峡(みたけしょうせんきょう)であるが、一般には御岳昇仙峡と新字体で書かれる事が多い。秩父多摩甲斐国立公園に属し、同公園を代表する景勝地として知られる。長潭橋(ながとろばし)から仙娥滝までの全長約5キロメートルに亘る溪谷は、川が花崗岩を深く侵食したことにより形成された。溪谷内には、奇岩が至る所に見られる。日本二十五勝、平成の名水百選等に選定されている。

板敷溪谷

荒川ダムの先にある板敷溪谷は大小の滝がいくつもあり、手つかずの自然、滝の景色はとても綺麗である。最初に見えてくるのが、橋の下を流れる10メートルほどの白髪滝、さらにそこから15分程歩くと、落差約30メートルの華麗な大滝に出合える。流れ落ちる大滝は水量が多く、とても迫力があるので、一見の価値がある。大滝に向かう途中にも数十センチから数メートル大小の滝がいくつもあり、楽しませてくれる。

荒川ダム

山梨県甲府市、富士川水系荒川に建設されたダム。高さ88メートルのロックフィルダムで、洪水調節・不特定利水・上水道の確保を目的とした山梨県営の多目的ダムである。ダム湖(人造湖)の名は能泉湖(のうせんこ)という。そこから流れる荒川は昇仙峡の溪谷を刻み、この川はやがて笛吹川に合流し、富士川となって、駿河湾へと注いで行く。

